



特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会

里山だより

2005年11月

秋号 25号

2000年4月に
日本財団から助成を
うけた林内作業車を
ナショナルトラスト地
の裏まで運転しました。
新しい道作りの為、
間伐した木を運び出す
作業を講座のみなさんと
行いました。



ナショナルトラスト地の里道から林内作業車で間伐した木を運ぶところ

特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会

〒518-0762 三重県名張市上三谷268番地の1

0595-64-0051

fax 0595-63-4314

HP <http://www.e-net.or.jp/user/ecoakame/>

ホームページを開いてメルマガの読者として登録ください。

面白い情報があなたのメールに届きます。



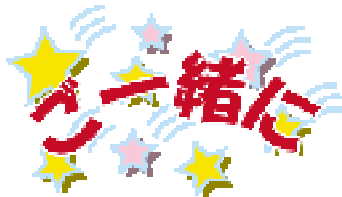


本当にいつも、(2005年夏から秋へ) 赤目の里山に対するご協力ありがとうございます。

国際ワークキャンプ『ナイス』
2005夏In名張キャンプ
9月1日から15日

今や赤目の里山の保全管理には、このナイスの年2回のキャンプは欠かせないものになっています。延べにすると15人×10日でも150人の労力ということになります。

今回のキャンプには、韓国 ギリシャ フランス ドイツ 台湾などの海外からの青年たちも参加して、多くの課題に取り組んでくれました。その中でも「里山フェスタ」の取組みは大きく、延べ250名もの人たちが参加してくれて、植樹やそうめん流しやコンサート等で里山の自然を楽しんでもらうことができました。



赤目の森 毎月第4日曜日の活動日

赤目の里山を育てる会では、毎月第4日曜日を統一活動日として、みんなで作業したり、話し合ったりしています。最近の活動日では、ペレタイザーの材料である木材チップを入れる箱づくりやエコリゾート赤目の森の施設の老朽化が進んでいるところの補修などに頑張っています。育てる会の湯川さんや芝田さん、青木さんたちが参加してもらって充実した

「ワーキングホリデー」を楽しんでもらっています。多くのおみなさんと一緒に、チェーンソー や草刈機などを使って、里山をきれいにしたいと思っています。よろしかったら、第4日曜日に赤目の森にお出てください。朝10時頃から始めています。

写真はエコリゾートの機械室へのトレールの補修です。



里山リーダー養成講座 里山レディース講座の受講生による「里山保全活動」 毎月1回の講座日です。

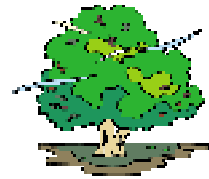
すでに、5年目になります赤目の里山を育てる会による里山リーダー養成講座や里山レディース講座



は、毎年新しい人を迎えて楽しく里山のことを学んでもらっています。この夏から秋までの間には、笹百合の咲いている斜面の草刈をはじめ、新しくできた里道の木材の運び出しや、林内作業車をトラスト地の最上部にあげるための道の補修ほどに頑張ってきました。

男性だけでなく、女性もチェーンソを上手に使えるように指導を受けながら、頑張って作業をしてもらっています。

湯川さん 芝田さん 坂上さん 杉本さん 古賀さん 森川さん 河野さん 平原さん 橋田さん するなど



関西大学 片桐ゼミ里山体験合宿での作業

2005年10月30、31日

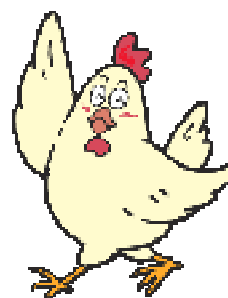
片桐先生は社会学の教授で、赤目の里山を育てる会の活動を知ってから、自分ゼミの学生たちをつれて、赤目にきてくれています。日曜日の午後から月曜日の昼間での期間でしたが、

23名(男女半々)の学生さんたちは、真剣にチェーンソや草刈機の使い方を学び、それらを使って草刈や



薪作りをしてくれました。また、前日到着してすぐに作業に取り掛かって、新しい里道からの木材の運び出しやチップアンドチョッパーの機械で枝葉を処理してもらったりで、里山が随分きれいになりました。

その後褒美といっは何ですが、飼育している「名古屋コーチン」を締めて、毛をむしってもらい、昼食の食材にすることもできました。この作業の現場には、「今の若いもんは、」という言葉は、全く当てはまりませんでした。本当にありがとうございました。





赤目の里山を育てる会活動記録

秋たけなわ。里山も落葉樹が色づきはじめ、落ち葉が黄金色に輝く季節になりました。初夏から秋までの里山の活動は、国際ワークキャンプをはじめ、週末ワークや里山フェスタなど夏休みもはさみ子どもや青年で賑やかな行事が楽しそうに行われました。また、里山総合講座の他に里山最先端技術講座も開講し里山の利活用についての知識を深めて頂けるよう新しい試みにもチャレンジし、幅広く多くの方が里山に関われるよう活動しております。

こどもエコクラブ 7/2 10/15

イオングループジャスコ主催で行われる「こどもエコクラブ」の活動を赤目の里山で行っています。企画と運営を育てる会が担当し、こどもと保護者の方に自然の移り変わりを体験してもらい、旬の野菜を使ったエコクッキングを実践し、普段持ちなれない包丁を使い野菜を切ったり、薪でご飯を炊き、自然の中で「生きる力」を育む内容で展開しています。年4回行われます。イエローシートキャンペーンでは、ジャスコ新名張店から子どもたちでも調理実習ができるようにとお鍋と包丁を寄付して頂きました。



環境大臣賞受賞記念パーティー 7/23 学生会館別館にて



午後6:00～行われ、約80名の方がお祝いに駆けつけて頂き、励ましやお祝いのお言葉を頂戴し、心温まる祝賀会となりました。駆けつけていただいた皆様に心から感謝するとともに、今後の赤目の里山を育てる会の活動の励みにしていきたいと思えます。国際ワークキャンプの参加者だった学生の方にも祝賀会のお手伝いを頂きました。どうもありがとうございました。

日本一小さな木質ペレタイザー「稼動見学会と木質バイオマス講演会」 8/28



岩手・木質バイオマス研究会会長の金沢滋氏をお迎えして講演していただき、午後からは、アースエンジニアリングの東寛氏による「ペレタイザー稼動実験説明」とトムソーヤ広場での乗用草刈機の試乗運転会を行いました。

参加費 3000円(昼食込み) 宿泊1泊3食

11000円と有料の講座を開催しましたが、約35名の参加者があり、名張市長の亀井利克氏も駆けつけて下さりご挨拶して頂きました。とても有意義な講座となりました。



名張市「市民公益活動実践事業」すぐに役立つ NPO 初級講座

第一回「NPO とボランティアが切り開く未来」05年7月5日(火)7:00~9:00

講師 伊賀県民局生活環境森林部 竹田久夫氏

第二回「使命を果たす組織と運営」05年7月12日(火)7:00~9:00

講師 NPO 法人 市民ネット代表 阿部圭宏氏

第三回「人・金・物と NPO」05年9月6日(火)7:00~9:00

講師 赤目の里山を育てる会 副理事長 伊井野雄二氏

第四回「NPO の社会的役割と社会開発」05年9月24日(土)

講師 日本福祉大学経済学部助教授 雨森孝悦氏



名張市社会福祉センターにおいて NPO の初級講座を上記の内容で開催いたしました。

参加者は約10名前後ですが中身の濃い講座となりました。講座終了後、実際に子育て支援のボランティアグループが NPO 法人を立ち上げることになり、事務局に相談があり中間支援的な役割も担わせて頂きました。



国際ワークキャンプ 9/1~9/15まで

「里山フェスタ in 赤目」 9/11

今年の夏も国際ワークキャンプの若い青年達のお力を借りて里山保全の作業を手伝って頂きました。ナショナルトラスト地の裏道も貫通して里道から木を運び出したり、薪作りに協力して頂きました。また、地元の赤目小学校との交流も恒例になりました。回を重ねてきた「里山フェスタ in 赤目の森」もワークの青年達と講座の受講生が中心となり行われ、約200名が訪れる大イベントとなりました。

フェスタでは トラスト地にクヌギとコナラを植林

そうめん流し バームクーヘン作り 宝探し 海外の料理披露 ゲーム トラスト地でもれびコンサートなどが行われ里山に沢山の地元の方やご家族連れの方が訪れて賑やかな一日となりました。



ウェルカムパーティー



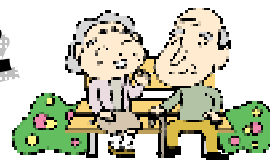
第一号トラスト地にクヌギとコナラを植林



里山を愉快地楽しくさせる
中川バンド~



デイサービス赤目の森の様子

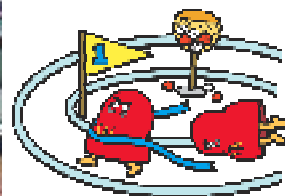


里山でのデイサービスは、身近に自然と触れ合うことが出来ます。看板後ろのササユリの小道の斜面にできたテラスを「こもれびテラス」と呼び、そこで飲むコーヒーは最高だと利用者の方はおっしゃいます。夏の間は涼しい場所で「コケ玉作り」や「冷たいデザート作り」「健康体操」などをして過ごしました。今年は初めて夏祭りも行い、デイサービスの利用者の方と炭坑節と草津音頭を替え歌にして赤目オリジナルの作詞で盆踊りをしました。利用者の皆さんにも料理して頂く「クッキングデー」も設けてカレーライスやスパゲティー、焼そばなどを作ってお天気の良い日には、野外で食べることもありとても好評です。調理は脳の活性化にとっても良いそうです。玄関先に猫の額の広さの畑を作っていますが、そこを「モリモリ畑」と名づけ、看板までデザインして塗装まで担当して下さった利用者の方もいます。新鮮な無農薬のお野菜を昼食にたっぷり召し上がって頂いております。里山広場では、運動会も行いました。昨年、好評のパン食い競争や綱引きも行い皆さん大奮闘！

介護保険適用外ですが日帰り旅行で鳥羽にも行き、外出する機会の少ない利用者の方に喜んで頂く事ができました。



夏祭り



鳥羽の海 二見浦「夫婦岩」



モリモリ畑の看板



里山広場で運動会



モリモリ畑の前でお食事

利用者の方

鳥居町



園芸もみんなで楽しく行っています。

デイサービス赤目の森の着実な前進を勝ち取ろう

第3回 理事会 開催される

10月30日に第三回の理事会が行なわれました。会議には5名の理事が参加して、この間の取組みの報告を確認し、現在の課題などについての真剣な議論が行われました。

一つは介護事業が3年を迎えるにあたって、利用者の確保獲得を日常的に行うことが、里山の保全活動を支えることにつながっていくことが話されて、デイサービス赤目の森の広告・情報発信をできるだけ多方面に行っていくことが確認されました。

そのために、育てる会のホームページを刷新して、情報発信を分かりやすくすることが求められていること、寄付や募金などの取組みを全面にだすこと。また、ボランティアを募集していることを、具体的な業種も上げてみなさんをお願いすることなどがきまりました。IT関係は佐野理事が担当することになりました。

このような取組みを行うことにより、介護事業や里山保全事業、環境教育、情報発信などの多種類の事業をこなしていくための人材や資金を調達することの大切さが出されました。それは、一部の職員に過重な仕事を強いることの排除を行うとともに、しっかりした会の基盤整備につながることを確認しました。

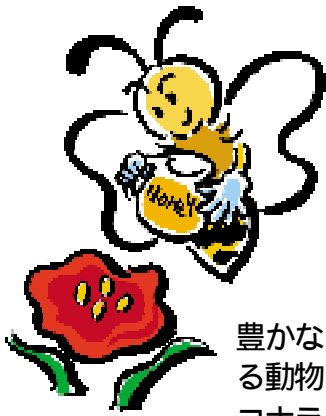
また、来年に予定されている赤目の里山で行われる第14回全国雑木林会議の開催にあたっては、来年早々に実行委員会開催をして、正式な取組みをスタートさせることが確認されました。日程は、決定していませんが、8月下旬から9月初旬が検討されています。

会員さんの大きなご支援で会が成り立っています。デイサービス利用者の獲得、募金・寄付金などの獲得、ボランティアの協力集約など、多くの人たちのご支援がこれからも、益々必要となっていますが、できることからコツコツと積み上げていきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

来年には、創立10周年を迎えることから、新たな中長期的な事業計画を立案することが求められます。赤目の里山を育てる会に (1) 何が求められているか。(2) 何をしなければならないか。(3) 何をしていきたいか というようなことを議論していく必要があります。理事会として、皆様のご意見を聴取する機会を作る場を今後設けていかなければならないと思っておりますが、今回の理事会では十分な議論ができず、次回に継続審議されていくことになりました。

助成金応募情報 (2005年4月～10月)

- | | | | | |
|--------------------|-------|------|-----|-----|
| ・名張市市民活動実践事業 | 2件 | 60万円 | 採択 | 実行中 |
| ・国土緑化推進機構 温暖化防止事業 | | 30万円 | 採択 | |
| ・国土緑化推進機構耕作放棄地の植林 | 160万円 | | 採択 | |
| ・国土緑化推進機構環境学習地の研究 | 200万円 | | 不採用 | |
| ・ファイザー製薬 ころとからだのケア | 250万円 | | 審査中 | |
| ・日本財団 森林竹林整備助成事業 | | 30万円 | 審査中 | |



特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会

講座「里山とミツバチの美味しい関係」

豊かな自然「里山」には様々な動植物が共存しています。最近、山に棲んでいる動物達の食べ物がなくなり、民家に現れることが時々ありますね。雑木林のコナラやクヌギも受粉しにくく、ドングリも少なくなってきたとか・・・。あけびや木の実など山にたくさん実るのは、蜜蜂や昆虫たちが吸蜜してくれるお陰かもしれません。今回の講座は、養蜂で里山が豊かになるお話と、**様々な蜜源（花）からとれた蜂蜜をテイastingして、その違いを楽しむ「ワインのようにハチミツを楽しもう」ワークショップ**。そして、実際に赤目の里山のフィールドにでて蜜源調査を行います。是非、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

日時：平成17年11月13日（日）午前10時～午後3：30終了予定

場所：三重県名張市上三谷268-1

エコリゾート赤目の森

電話 0595-64-0051

fax 0595-63-4314

講師：宮川流域案内人 大内山グリーンパーク

門浦 日出男 氏

NPO ローカルジャンクション21代表

協力 ローカルジャンクション

朝田くに子 氏

参加費：当日参加 お一人様 3000円（税込軽食付）

ご宿泊参加 お一人様 11000円（税込）

スケジュール

午前 ・ミツバチ養蜂関係の座学 養蜂器具の紹介

・「ワインのようにハチミツを楽しもう」ワークショップ

様々な蜜源（花）のハチミツをテイasting！

午後 ・蜜源調査 赤目の里山散策

【赤目の里山を育てる会のメルマガの読者になってください】 現在260名様

赤目の里山を育てる会のホームページ <http://www.e-net.or.jp/user/ecoakame/>

このページで、メルマガジンを発行しております。読者登録をしていただくと、無料で毎月、赤目の里山を育てる会 エコリゾート赤目の森の情報を受け取ることができます。ぜひ 登録を

編集後記

夏期には、皆様にご費の納入をいただき、ありがとうございました。

今月号から、里山への活動をしてくださる方々に焦点をあてて紙面作りをしました。ホームページでも見られますので、

カラーの紙面をお楽しみください。

また、11月13日の『ミツバチ講座』皆様の多くのご参加をお待ちしております。 編集子

赤目の里山を育てる会の現状

個人会員 153名

賛助会員 14団体個人

みどりの募金累計金額 336万円

名張市の会員が増えていますが、都市住民の方々の退会と相殺されています。

厳しい社会を反映していると思います。